

中里こども園の園児たちがサツマイモの収穫を行いました。町の若手農業者でつくる「ばろかだる会」では子どもたちが土に触れる機会が少ない今、少しでも多く土に触れられるようにと、同園で6月にさつまいもの苗植え体験を実施し、10月22日(月)に園児たちが待ちに待った収穫を行いました。

園児たちは、先生たちに手伝ってもらいながら一生懸命サツマイモを引き抜いていました。収穫を体験した田中麻友実さんは「難しかった。かたくて折れるところだった」と話し、苦勞しながらも作業を楽しんでいたようです。



園長先生は、「今回の体験の楽しさを忘れずに、これからもがんばってほしい」と、園児たちにエールを送り、園児たちは元気に返事をしていました。

園児たちは、さつまいもをスイーツポテトや焼きいもなどにして食べたいと話し、今回の収穫をととても喜んでいました。

○この記事は、木造高校の古川安梨紗さんが作成しました。

役場で広報担当者の仕事を学ぶ

木造高校1年
古川安梨紗さんが職場体験

木造高校1年の古川^{ありさ}安梨紗さんが、10月22日(月)から10月24日(水)にインターンシップ(職場体験)で町役場を訪れました。インターンシップでは、総合戦略課で広報係の仕事に携わり、取材や記事の作成を体験しました。

初日の中里こども園での取材では、かつて古川さん自身が町立保育所時代に通っていた頃、お世話になった先生たちとの再会を喜びながら、園児たちがサツマイモを収穫する様子を写真に収めていました。

最終日の24日(水)は、薄市小学校の社会科見学の様子を取材しました。最終日ともなると、カメラの扱いや取材に慣れて、取材中に小学生と仲良くなったようで、取材を楽しんでいたようでした。3日間を通して古川さんは「今回のいろいろな体験で、たくさんの地域の人たちと触れ合うことが出来た。この体験を自分の将来に活かしたい」と話しました。

